

# 時事一夕談

オプアーツ 星 一

## △獨逸はどうなる

かつて?…或雑誌からもそういふことを聞きに來たんだけれどもそんな問題は話らないことだよ。此間、米國大使が日本協會の晩餐會席上、一場の演説をした。うだ。俺は聴かなかつたが、其の間に招待されて、日本の一美術家が席畫を描くのを見たといふのだ。書家が絹地を延べてゐると、傍で見ているものが「ハテ何を書くだらう」と大いに期待してゐる。すると書家が懸て畫筆を一揮ひした。傍の人は「ハハア海岸を描いてゐるナ」と囁いた。更に一揮ひした、「今は海かナ」と囁いた。更に又一揮ひすると「今度は森かナ」と又一揮ひすると「愈々山に違ひない」と囁いた。而して最後の「揮ひに至て一幅の美事な山水畫が出来上つた。茲に於て思ふに右のやうな言葉が若し畫家に不愉快な感じを與へるものであつたならば恐らくア、いふ立派な畫

は出來なかつたであらう、幸にして其話聲は別に畫家の氣を悪くするものではなかつたといふのだ。其の意味は、描く人にはチャンと描くだけの腹案があつて描いてゐるのだから、それを未だ仕上げない間に傍から兎や角評をするといふのは禮に背くといふのだ。無論此の話は日本人が米國に對する態度を諷したものだらうが、どうだなか、うまいことをいふぢやないか。新聞などに出たものを一々氣にして論じ合ふのは詰らないことだよ。

## △日本の労働問題

か?…ウん、外國では盛んに労働問題が論議されてゐるんだけれども、俺は日本には起らないて

## 女子の改造

小林 高子

近ごろ學校出の若い奥様方の間に「改造」といふ言葉がはやるやうになりまして、女はどう改造すれば好いてせうといふお話も出て参ります。時勢の進歩と思想の變化に伴ふやうに婦人も亦改造されなければならぬといふ。從來の良妻賢母主義は「新しい女」が出来し

濟むだらうと思ふんだ。何故なれば日本の労働者にはアンビションが強いからだ。今は労働者でも今にエライ者になつて見せるといふアンビションが輝いてゐる、實際又腕次第で以て日本ではどういふエライ者にもなれるんだ。そして子供に對しては非常に愛情が強く、自分は食ふや食はずでも子供は立派な人間に仕上げた未は樂をしやうと考へてゐる。外國の労働者は爾うでない、自分の儲けた金は其の中幾分の貯蓄もし又自分の娛樂費にも充て、其の餘りてといふとをかしいが、子供を親の義務として育て、居るに過ぎないんだ。労働者の子供として、子供に對する義務心から教育を果した後は、勉強したければ勝手に自

分て勉強すれば好いといふ遣口だから子供は圖書館にでも行つて勉強する。親と子とは全く別々で又労働者の子供は何時まで労働者といふ風だ。そこで此の労働階級にもつと餘裕を與へなければならぬといふことから労働問題も起るのだ。それは丁度穢多村の人間を可哀相だからもつと何とかしやうと云ふのと違ひはない。日本の労働者を侮辱するもんだ。然し労働問題は外國の事だから構はないといふ風ではいけない。西班牙風邪が世界的流行をした様に労働問題も何時日本に流行つて來ないとも限らない。だからよく労働者に同情して彼等のアンビションを達せしめるやうにすれば問題は起らずに濟むと思ふんだ。

た影響を受けまして、女は良妻賢母として生きる前に先づ人間として生きよといふことで内容が盛られ「弱き者」の女の名は女なり」といふ言葉に對抗して女も強くならなくてはならないと主張された。されから歐洲戰爭中、女が男の留守中、立派に仕事を仕遂げたことによりまして女の能力と社會的地位は高まり、それが政治上にまで及んで今日では婦人參

政權問題に就て誰も怪しむ者は居なくなりました。我國でさへ之れを唱ふる人か出て來たのです。女大學の時代から考へますと、二十年や三十年の間にいくも斯んなに變化したと驚かれます。

でも私は世の中がどんなに變化いたしましても、女は女といふことに變りはいたしませんから、由平等の光明に浴することができませうと思ひます。